

学校教育目標

確かな学力と豊かな心を身につけ、なかまとともにたくましく生きる子どもの育成
～「喜んで登校」「満足して下校」できる学校に～

めざす子ども像

自主的・協力的に生活をきりひらき、地域の人とともに「あやま」を大切にしようとする子

あ たたかい心・・・自分もなかまも大切に、「いのち」を大切にする子（人権）

や る気いっぱい・・・夢や希望に向かってねばり強く取り組み、進んで仕事にはげむ子（キャリア）

ま なぶ意欲・・・なかまとともに聴き合い学び合い、感性豊かに表現する子（学力）

努力目標

【喜んで登校・満足して下校し、「学校に行くのが楽しい」と感じる子ども100%をめざします。】

1 一人一人の存在や思いが大切にされるなかまづくり（人権・同和教育の推進）

★一人一人の存在や思いが大切にされる人権学習を進めます。 【「自分のことが好きだ」と感じる子ども90%以上】

・自分の生活や思いを綴り、交流しあいます。

★一人一人の違いを認め合うなかまづくりを進めます。 【「人のことを考えて行動できる」と言える子ども85%以上】

・安心して過ごせるルールや違いを認め合える関係を大切にします。

★保小中連携を大切に、「なかまづくり」「自分づくり」「地域づくり」の取り組みを進めます。



2 自信をもって個性豊かにたくましく生きる力の育成（キャリア教育の推進）

★地域社会で活躍する人の生き方に学びます。 【「将来に夢や希望を持っている」と感じる子ども90%以上】

・出会い学習や体験学習に取り組みます。

★子どもたちも教職員も笑顔であいさつをします。 【「気持ちのよいあいさつができる」と言える子ども90%以上】

3 安心感・わくわく感・達成感のある授業の創造（学力の向上）

★よくわかる授業づくりに取り組みます。

安心感 【「学習の進め方がわかりやすい」と感じる子ども90%以上】

・「めあて」「まとめ」「ふり返り」を提示します。 （学習の流れや見通しがわかる安心感）

・子どもたちの話をしっかりと聴きます。 （先生が聴いてくれているという安心感）

・「わからなさ」を大切に授業を行います。 （「わからない」と言える安心感）

わくわく感 【「勉強はよくわかる」「本を読むのが楽しい」と言える子ども80%以上】

・授業の中に「読む・書く・聞く・話す」活動を入れます。 （様々な活動があるわくわく感）

・授業の中にICT機器の活用や体感的な活動を入れます。 （見つける喜びがあるわくわく感）

・読書や読み聞かせを継続します。 （新しい出会いがあるわくわく感）

達成感 【「自分で考えて学ぶことが楽しい」と言える子ども80%以上】

・自分で考え続ける子どもを育てます。 （話し合いができたという達成感）

・授業の中で自ら進んで発言できるように取り組みます。 （根拠や過程を話せたという達成感）

・「家庭学習（10分程度×学年）や自主学習に取り組んだ」と言える子ども70%以上】

（毎日取り組み成果が出たという達成感）

4 特別支援教育の充実

・可能性を伸ばすために、自立活動を取り入れた活動を行うとともに、「共に学び、共に育つ」教育をすすめます。

・学校と保護者がしっかりと連携し、「一緒に考え、支援すること」を大切にします。

5 地域と保護者とともにある学校づくり

★学校の教育活動や子どもたちの様子を地域・保護者にお知らせします。

【HP発信 毎日（児童が登校する日）】【阿山小だより 年30枚以上】【学年だより 年12枚以上】

【子どもたちのつづり方が掲載された 一枚文集・学級通信】

・HPやたよりや一枚文集・学級通信を通して子どもたちの姿をお知らせします。

・できる限り地域・保護者の方の行事や学習参観等の機会を設けます。

・学校運営協議会等（保護者や地域）の意見を取り入れた学校づくりを進めます。【90%以上】

PTA努力目標

・自分から進んで笑顔であいさつします。 ・「ありがとう」の気持ちをきちんと伝えます。

・自分も周りの人も大切にします。 ・家族で話す時間をつくります。 ・早寝、早起き、朝ごはん。

※教職員も元気に【「働き方改革への意識を高めた」と言える教職員 80%以上】

【「コンプライアンス（法令遵守）の意識を高めた」と言える教職員 100%】

・教職員が元気に子どもたちと向き合えるように、総勤務時間の削減に努めます。

・働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランスを大切にします。

・コンプライアンス研修を行います。

